



第11号
平成25年6月25日
特定非営利活動法人
キャリアサポートネットワーク
千葉県船橋市緑台1-3-1-304
047-440-1790
<http://www.cs-network.jp>

金杉台小学校で職業人インタビューを行いました

キャリアサポートネット

ワークは、今年一月八日に船橋市立金杉台小学校(大塚良次校長)で職業人インタビュー授業を行いました。

同小学校は、船橋市の高台にある金杉台団地に接する立地の小学校で、児童もほとんど全員が同団地と近隣の住民です。一学年が二クラス。同校の清水教諭が中心となって進めた独自キャリア教育カリキュラム「夢・仕事調査隊」今こそ出発点の一環として実施されました。このカリキュラムは全体で四十時間以上にわたるキャリア教育の授業です。(カリキュラム概要は次頁に掲載)

職業人インタビュー授業は、五時限目、六時限目を利用し、児童の皆さんは三々四々チームを作り、将来の進路選択へ向けて考えるべき自分たちのテーマを設定、これまでに沿って、職業人にインタビューしていきます。

ます。

キャリアサポートネットワークから参加した職業人八名は、流通からメーカー、システム関係まで分野もさまざま、職種も販売から営業、事務、品質管理と多様にわたります。最初は緊張気味だった皆さんですが、だんだん緊張もほぐれてくると、いろいろな質問が出てきます。



なかには職業人が戸惑うような質問もあり、期待した答えとは異なる回答になることもあったようですが、どんな質問にも丁寧に答えようとすると職業人の姿勢

に、児童の皆さんに気持ちを通じたようで、興奮ぎみの感想や普段の生活にも変化が見られたとのことで、期待した答えだけでなく、それぞれなにかを感じてくれたようです。



同校の清水教諭によれば、「国語や算数などの科目は解けるようになること、理解できることが大切ですので、ある程度、子どもたちにヒントをだしたり、理解度に応じて指導することをしますが、キャリア教育ではなによりも自身で考え抜くこと、悩むことが大切。生徒にとつては、ある意味、追いつめられるようなつらさもあつたかと思えます。けれども、そこで中途半端に答えを出してわかったような気持ちになることは避けた

かっただけです。悩んで悩んで、本気で取り組むからこそ、自身の身につくものでもあり、たとえ答えが見つからなくても、それは将来に役に立つ経験だと思えますし、そう願いながら私も本気で立ち向かいました。そこに、職業人という大人がまた本気で立ち向かってくれたことで、子どもたちはさらに本気になりました。これがすごい相乗効果になりましたし、子どもたちの成長や変化につながったと思います。この授業後、子どもたちの中には、今まで懷疑的だったことを素直に受けとろうという姿勢も感じられました。世の中、すごい人ばかりでなくても、普通の人でも夢をつかむ、期待できると思ったのではないのでしょうか」と語っていただきました。

この経験を通じて、私たちキャリアサポートネットワークも、カリキュラムの中心や精緻な構築ももちろん大切だが、なによりも真剣に取り組む姿勢が、心を動かし、なにかを気付かせる、そんなことを感じました。

船橋市に広がれ
法典西小学校でも
職業人インタビューを
行ないました



一月十六日には船橋市立法典西小学校でも職業人インタビュー授業に協力してきました。同校では読売新聞社記者から児童たちがインタビュー取材の仕方を習い、その応用として、外部やPTA協力者が経験してきた仕事について職業人インタビューを行うというものです。キャリアサポートネットワークでは、今後も子どもたちのキャリア教育の支援のため職業人インタビュー授業を積極的に広げていく予定です。

《職業人インタビュー》 船橋市立金杉台小学校 実施事例

「夢・仕事調査隊 ～ 今こそ出発点」

今の自分を見つめ直し、曖昧で漠然としている「夢・仕事」への疑問を少しでも解決し、これからの生活を見据え、将来について考える

カリキュラム

- ① 「夢・仕事」イメージマップ作成
 - ・ 「夢・仕事」、自由にイメージマップを作成
 - ・ 思い・不安・もやもや等を、自由にマップ化

- ② 個人テーマ(課題)設定
 - ・ イメージマップから、個人のテーマ(課題)を設定

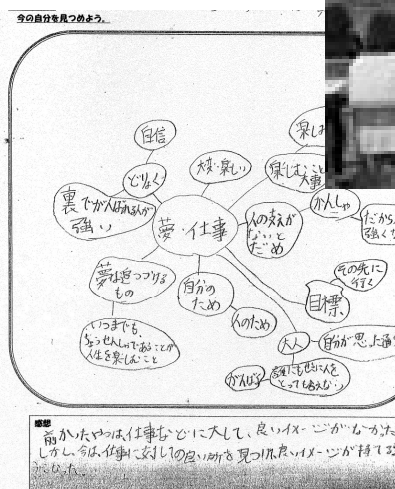
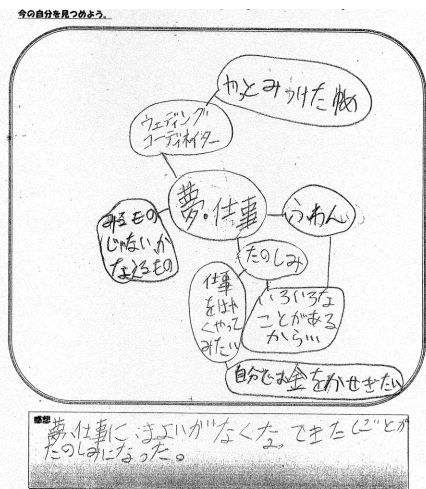
- ③ グループ編成(共有テーマ)
 - ・ 自分のテーマ(課題)と同じ思いを持った友達とグループを作成
 - ・ さらに、グループで情報収集し、テーマを追究
 - ・ インタビューへの準備

- ④ 職業人インタビュー
 - ・ グループごとに、テーマ(課題)に沿ってインタビューを実施

- ⑤ グループまとめ・発表
 - ・ グループごとに、調べたこと、気づいたこと、思い等をまとめ、効果的な発表方法を考えた後、発表を実施

- ⑥ クラス検討会
 - ・ グループの発表を聞き、グループのテーマ(課題)、ゴール(目標)を検討
 - ・ クラスのゴール(目標)を確認

- ⑦ 「夢・仕事」イメージマップ2回目作成
 - ・ 個人のゴール(目標)に対するまとめの実施
 - ・ 情報収集、発表、検討の結果を踏まえ、自分の思い、気づきを、まとめながら、マップ化



＜児童のインタビューから＞

- ・ 「夢をもつこと」「夢を叶えようとする」「夢を叶えること」何が大切ですか？
- ・ なぜ働くのですか？
- ・ なぜその仕事を選んだのですか？
- ・ いつその仕事にすることに決めたのですか？
- ・ 仕事をして嬉しいことは何ですか？
- ・ 仕事をして苦しいことは何ですか？
- ・ 止めようと思ったことはありますか？
- ・ 夢をもっていますか？
- ・ コミュニケーションをどうしたらとれますか？ 等

＜児童の感想から＞

- ・ 大人の方が、あんなに真剣に対応してくれてビックリした。
- ・ 仕事で嬉しいことを聞いたら、皆が「人に感謝されること」と言っていた。
- ・ 「思うこと」、「やってみること」が大事なんだと気がついた。
- ・ 夢・仕事に、まよいがなくなってきた。仕事を楽しみになってきた。
- ・ 仕事に対しての良い所を見つけて、良いイメージを持てるようになった。自分の考え方が変わった。
- ・ 前は軽い言葉だったけど、今は、1つ1つに意味がある。
- ・ 夢に対してのいままでと違う強い意志をGET、集中力GET、新しい考えをGET。
- ・ 夢を通して仕事のことへの思いが強くなっていることに気づきました。4月よりは成長したと思う。
- ・ この授業をやって沢山の疑問を解く事が出来たので、やってよかったなと思いました。また、もっと夢を叶えたいくなりました。

「仕事は人生で一度はやらなければいけない、仕方がないもの、生活に苦しむのはいや」とか、「やりたい職業に就きたい。でもそんな自信なんてない。」など否定的な意見も少なくなかった児童の皆さんが、私たちとの対話を通じて、「夢は見るものじゃない、叶えるもの」や、「他の人たちに支えてもらってこそ生きがい、やりがい」、「前を向くことの大切さ、人間ひとりではない」など、ポジティブな考えをもってもらったことをとてもうれしく感じました。今後も、私たちキャリアサポートネットワークは、子どもたちのキャリア教育のため、職業人インタビューの活動を広げていきます。

今回私たちは、金杉台小学校で作成されたカリキュラムの中で、「職業人インタビュー」部分を担当いたしました。キャリアサポートネットワークでは、学校のご希望に沿ったカリキュラムの検討からお手伝いいたします。

お問い合わせ先 TEL 047-440-1790
Mail info@cs-network.jp



会員紹介



渡辺 礼子

キャリアサポートネットワークに参加して初めての体験が小

学校での職業人インタビューでした。小中学生の児童英語教室の講師をしていたこともあり、久々に子どもたちと接して、とても楽しかったです。子どもたちは初対面の大人への警戒心もあつたのですが、瞳がキラキラしてきて、まっすぐに懐に飛び込んでくれました。周囲でも大人たちの仕事の話に真剣に耳を傾け、仕事って何だろう？と興味津々でした。子どもたちの姿を見ながら、わが子にももっと自分のキャリアや仕事観を語ってあげべきだったとちよつと反省。

私が初めて社会に出て三十年以上、男女雇用機会均等法のできる九年も前に流通業界では初の女性営業職に応募。しかし、百人いた女性同期社員は三年後も在籍していたのは一割。

私も出産を機に退社。二人の子を産み、海外に二年駐在して帰国すると、もう仕事に復帰する道は限られていました。「日本では一度レールをはずれると戻れないのよ」、当時の友人の言葉が今でも耳に焼き付いています。

その後、児童英語教室の講師の職から営業管理職なども経験しましたが、五十代を前にふと立ち止まり、「自分の人生これでいいのか」と問いかけ、心機一転、キャリアアカウンセラーの学びを始めました。暗中模索の中、カルチャーセンターの店長職も経験しながら、当時は「五十代の店長はあなたが初めて」といわれながら、今では同年代の店長が続々誕生したことがうれしく感じています。

小学校の卒業文集には「デザイナーになりたい」と書くくらい、デザインすることが好きで、洋裁店にデザインを持ち込んでオーダーメイドの服を作ってもらったこともあり。あの時、もしかしたら違う道もあったかもしれないませんが、人生山あり谷あり、人生塞翁が馬、しなやかに生きた結果が今の私。人生の後輩たちには勇気を持ってキャ

リアをデザインしてもらいたいと思います。

—————☆☆☆☆☆☆—————



三瀬恵利佳

キャリアアカウンセラーの資格を取得したものの現在の仕事は他分野です。キャリアサポートネットワークでの活動を通じて、どんなふうに関わり、どんな役割を果たせるのかを学んでいます。

今年一月に金杉台小学校の職業人インタビューに参加させて頂きました。

最近少し景気回復の兆しもあるようですが、就職、働く環境の厳しさを日々感じる中で、

これからの将来を担う子どもたちに、社会人・職業について知ってもらいたい、理解してほしいと思いつつも、ちゃんと伝わるだろうか不安な気持ちも持ちながら、インタビューに臨みました。

キャリア教育の一環として、子どもたちが将来の自分をイメージする、それを考えるための職業人インタビューでした。

私の想像と異なり、子どもたちは事前準備もしっかりできており、質問も的確でした。子どもたちの中には、自分の未来像を描いている子どももいたり、頼もしいなあと感じることもあり

ました。同時に、こちらも真剣に答えようと思わず熱が入りました。すぐに打ち解ける子どもがいたり、シャイな子どももいましたが、ときに戸惑うときもありましたが、それぞれはその子の個性でもあり、知りたいこと、聞きたいことにもその子らしき感覚が欲していることを答えられるよう気をつけながらインタビューに応じましたし、興味を持ってもらえる言葉を選ぶようにしました。

これからも、キャリアアカウンセラーとして、ひとりの職業人として、子どもたちのキャリア形成に役立つように活動していきたいと思えます。



キャリアサポートネットワークの活動にご協力を

CSNでは、ここに掲載した活動以外にも、千葉県内を中心に活動を行い、また千葉県とNPOの協働事業へ提案するなど積極的に活動を広げていきます。活動に直接お手伝いいただける方だけでなく、事務処理など皆様のできることから協力いただける方を募集しています。この『CSNだよ』をお読みになつて、興味を持たれた方、ぜひご一報ください。

■事務局 千葉県船橋市緑台1-3-1-304 TEL 047-440-1790\FAX 020-4662-2067
MAIL info@cs-network.jp ホームページ http://www.cs-network.jp